

第3号様式（第6条関係）

令和7年1月17日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）戸田市長

団体名 ゆるぷらっとフォーム. Well-being-らぼ
代表者職・氏名 伊藤愛美

所在地

事業名	とだハピ祭り in あいパル	
SDGs の 該 当ゴール	4. 質の高い教育をみんなに 11. 住みつけられるまちづくりを	
確定前交付 の希望	☐ 希望する	☒ 希望しない
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	
ホームペー ジ	http://	
設立年月日	2020 年 10 月 1 日 設立	
会員数	7 人	
年会費	0 円／1年間	

団体の目的	学校現場の課題解決を急がなければ未来に希望を持って生きることができないと感じています。地域の学校『戸田第一小学校』を中心に学校と地域の中に子どもも大人も安心してわくわく学び合う居場所をつくることを目指します。家庭教育支援チームとして学校と協働して様々なサポートをしながら教育と福祉の連携をはかります。積極的な地域イベント参加や町会館を活用した居場所づくりを通して学校と地域を繋ぎ、多世代がごちゃまぜになりながら自分たちの居場所は自分たちでつくっていく意識を持つことを大切にしていきます。
-------	--

主な活動実績	・学校支援（授業・環境整備・安全見守り） ・新一年生保護者サポート ・地域イベント出展 ・後谷会館を活用した居場所運営 ・小学校就学時健診サポート ・とだハピ祭り in あいパル開催
これまでの補助金等の援助状況	戸田市社会福祉協議会地域支え合い助成金こども食堂・未来応援基金（令和5年度）浦和競馬こども基金（令和6年度）
団体PRなど	学校現場の課題を少しでも解決したい思いでコロナ禍をきっかけに有志の保護者が集り活動してきました。学校だけでは取り組めない様々な課題に共に向き合いながらチーム員それぞれが『安全地帯』となるよう心がけて活動しています。学校の課題は地域の課題と捉え、自分たちにできることはないか、学校と対話しながら連携して活動しています。 学校内だけではなく地域の中にも安心できる居場所をつくり、地域のイベントにも積極的に出展しながら学校と地域を繋いでいます。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGsの該当ゴール：4. 質の高い教育をみんなに 11. 住みつつけられるまちづくりを
--

学校現場に山積する課題は学校だけのものではありません。学校現場の課題は多様です。中でも様々な事情で学校に通うことが辛い、過ごしづらいことにより、欠席が続いたり教室に居られない児童が増加していること、登下校や放課後など地域の安全な環境を守ることにについては学校だけでは解決できない大きな課題です。当団体の事業は、未来を担う子どもたちが希望を持って生きるための課題解決を目指しています。その解決のためには大人のチーム力をあげていく必要があると考えています。そのために、次のSDGsゴール4. 11について実施していきたいと考えています。

SDGs ゴール 4. 質の高い教育をみんなに…

当団体が考える「質の高い教育」とは、学校を含む地域が、すべての人にとって安心してわくわく学び合える居場所になることです。

「安心」とは、失敗を恐れずチャレンジできること、困った時に助けてくれる人がいること、自分の言葉で語れる環境があること。「わくわく学び合える」とは、多様な人とたくさん出会うことをきっかけに自分が変わり続けることを実感できることだと考えます。

「安心してわくわく学び合える居場所」を持続的にするためには子どもの目の前にいる大人が主体的に、当事者として行動していくことが必要だと考えます。

まずは学校に関心を持ってもらい、何か一緒にできることはないか？共に考えて行動してくれる人を増やしていくことが必要だと考えます。「学校」は地域の中にありますが関わり方が難しい面もあります。だからこそ学校が「学校の中だけの教育活動」を飛び越えて、地域の一員として「社会教育」を楽しみながら人と人が繋がる姿を子どもたちに見せていきたいと考えます。

学校・家庭・地域が一緒になって共に解決に向けて協働していくためにはコミュニケーションが何より大切です。そのきっかけづくりとして《とだハピ祭り in あいパル》を開催し、お祭りづくりの過程から当日の開催を通して学校現場の課題に関心を持ってくれる人を増やしていくことを目指します。

大人もわくわくするお祭りをきっかけに、人と人のコミュニケーションが盛んになれば学校の空気が変わり地域が変わると信じています。

11. 住みつづけられるまちづくりを…

すべての人が幸せに暮らしていくためには人と人が繋がることが欠かせません。戸田第一小学校の児童・保護者・教職員の有志の皆さんには、学校の枠を飛び越えて「地域の一員」として《とだハピ祭り in あいパル》に参加してもらいます。人と繋がるためにはエネルギーが必要です。お祭りを通して普段とは違う感動やわくわくする気持ちを原動力に、学校のある地域を自分たちでまちづくりする文化を根づかせることを目指します。（シビックプライドの形成・熟成）人との繋がりを大切にして、一緒にまちづくりをすることで「自分たちの地域は自分たちでつくる」という当事者意識を子どもの頃から持ち続けることが住みつづけられるまちづくりを持続可能にしていきます。そして自分自身の内側から「幸せである」と言えるような人と人の出会いを多くしていきます。

2 事業の具体的内容

戸田第一小学校の児童、保護者、教職員が地域の一員として一体になりながら、手づくりのお祭りを開催します。学校の教育活動ではなく【市民活動】として行なうため当団体が中心となって運営していきます。わくわくするお祭りづくりをきっかけに、学校は地域と共にあるという意識を多くの人に感じてもらい、学校現場に山積する様々な課題解決が加速していくことを期待します。

日時 令和7年2月11日（火・祝）10時～14時

場所 上戸田地域交流センターあいパル

対象者 地域の方、どなたでも

運営 当団体メンバー7名、運営ボランティア20名当日ボランティア20名（予定）その他、下記内容のブース・ステージ出演者などの協力者

内容 出展は戸田第一小学校の児童・教職員・学校応援団等による
約50ブース

- ・ステージ発表…本村太鼓演奏（児童・保護者）、
地域ステージゲスト2名&バンド演奏（教職員バンド）、
チアダンス発表（地域講師&児童）、バレエ発表（保護者&児童）など
- ・ワークショップ…手芸小物づくり（保護者）、ダンス体験（地域講師
&児童）、野球ユニフォーム&グローブ着用の写真撮影 景品有（200
人分）（少年野球団コーチと共に）、アロマスプレーづくり（保護者）、
ウォーキング講座（保護者）、科学実験体験（保護者）、ハンドベル体
験（保護者&児童など
- ・児童とプロジェクト講師2名によるプロジェクト学習発表…生物、環境、
フードロスなど
- ・地域の方の協力による飲食販売…キッチンカーなど
- ・クイズラリー…館内のポイントを回りゴールで景品配布（800人分）
- ・学校応援団による読み聞かせ、工作

周知 ミニコミ誌掲載…上戸田地域交流センターあいパル「PALDISE」

パンフレット配布…市内公共施設、戸田第一小学校児童配布

ポスター掲示…上戸田地域交流センターあいパル館内、
戸田第一小学校校内

SNS 配信…市公式、上戸田地域交流センターあいパル公式 戸田第一小学
校 PTA 公式

事業確認 アンケートの実施

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
R.7 1/26	出展者説明会

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助 金・助 成金	当補助金	50,000 円	戸田市共創のまちづくり補助金
	その他		
自己資金		5,000 円	
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		55,000 円	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経費	講師謝礼	10,000 円	チアダンス講師、ダンス講師、プロジェクト講師 2 名 各 1000 円 少年野球団コーチ、ステージゲスト 各 3000 円	
	賃借料費	10,000 円	教職員バンド楽器等運搬のためのレンタカー代	
	消耗品費	15,000 円	養生テープ、画用紙、文房具など	
	食糧費	20,000 円	参加賞お菓子代 クイズラリー参加賞 800 人分、少年野球団体 験ブース参加賞 200 人分	
小計		55,000 円	内 訳	補助金申請額：50,000 円
				自己資金：5,000 円
補助				

